

町制施行60周年記念事業

「祝い膳」で子供たちの成長を祝う

1月19日、明和振興センターで町制施行60周年記念事業「小学校6年生の成長を祝い膳でお祝いする会」が開催され、町内3小学校の6年生24人と料理クラブの方々などが参加しました。今回は、60周年が人になぞらえると還暦であり、また、昔の数え年13歳は、男子が「元服」女子が「髪上げの儀式」など大人の仲間入りをする節目の年齢であることから、地域の食文化である「祝い膳」で小学6年生の成長をともにお祝いしました。



▲交流をしながら祝い膳を味わった児童たち

今回紹介されたのは、昭和30年代の後半まで、町内でも年越しや結納などの席でふるまわれた「祝い膳」です。児童たちが明和地区の料理クラブ「御器クラブ」の皆さんに教えてもらいながら調理を行い、「お平」（串魚や野菜等、7種類の具材が入った煮物）をはじめとする7品の祝い膳が用意されました。参加した児童からは、「美味しかった」「伝統を学ぶことができた」などの声が聞かれ、「祝い膳」を実際に調理し、食すことで地域の食文化を肌で感じる貴重な機会となりました。



▲参加した皆さん

今年一年の安全を祈願する

令和2年消防出初め式

1月5日、朝日振興センターで令和2年の「消防出初め式」が行われ、消防団員や女性消防班、関係者など約60人が出席しました。消防出初め式とは、消防関係者による仕事始めの行事のことで、毎年同時期に全国各地で行われています。

式の前半に行われた無火災祈願祭では、菅家町長と目黒邦友消防団長が玉串を奉てんし、出席者全員で今年一年の無火災や安全を祈願しました。その後、町長と団長から訓示があり、出席者の皆さんは決意を新たに、地域防災・防火に対する意識を高めました。

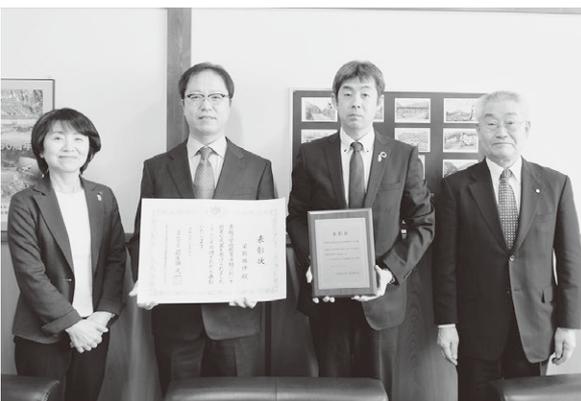


▲地域の安全のため、決意を新たにした団員の皆さん

文部科学大臣優秀教職員

学校や教職員の優れた取組に表彰

1月22日、今年度「文部科学大臣優秀教職員」として表彰を受けた朝日小学校（代表して米畑校長が来庁）と只見中学校の梁取勝伸主査が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告を行いました。同表彰は、学校教育活動全般において特に優れた取組を行った教職員や団体が対象となり、今年度、郡内からは3名（校）が表彰を受けています。朝日小学校はESD（海洋教育）の先駆けとして「只見愛」を育む教育を実践している点が、梁取主査は郡内事務職員の指導に尽力している点がそれぞれ評価され、今回の受賞となりました。



▲報告に訪れた朝日小学校 米畑校長(中右)と只見中学校 梁取主査(中左)

「第34回青少年健全育成主張大会」

児童・生徒が想いを発表

1月25日、「第34回青少年健全育成主張大会」が季の郷湯ら里で開催され、関係者や保護者など多くの皆さんが来場しました。

主張大会では、小学校・中学校・高校から各3名が、学校での経験や只見町への提言、社会問題などについて様々な想いを発表しました。各発表に対して会場からは大きな拍手が送られ、最後に明和小学校の穴澤校長から「皆さんが自分自身をよく見つめ、信念を力強く発表した素晴らしい内容でした」と講評がありました。その後、「第31回青少年健全育成標語入賞者」の表彰式が行われました。



▲主張を発表した児童・生徒と標語入賞者の皆さん

第31回青少年健全育成標語入賞作品 (敬称略)

部門	賞名	標語	学校・地区	氏名
小学生の部	優秀賞	悪い事 ダメだと言える 強い意思	朝日小学校6年	増田 司
	佳作	「大丈夫？」 その一言で いい笑顔	只見小学校5年	五十嵐悠陽
	佳作	あいさつで 笑顔あふれる 地域の輪	明和小学校6年	大竹 蓮斗
	佳作	「ありがとう」 その一言で 笑顔さく	朝日小学校5年	渡部 仁奈
中学生の部	優秀賞	メディアより 言葉で伝える ありがとう	只見中学校1年	岩佐 乃杏
	佳作	感じよう ラインより目を見て話す 友情を	只見中学校1年	渡部 美空
	佳作	スマホより きっと大切 言葉の力	只見中学校1年	梁取ななこ
	佳作	ありがとう 素直に言える その気持ち	只見中学校3年	馬場 混大
高校生の部	優秀賞	あいさつで 広がる繋がる 地域の輪	只見高等学校1年	平野 創士
	佳作	今日の日を 一番楽しむ 僕がいる	只見高等学校1年	小菅 岳人
	佳作	あいさつで つながれつながれ 人と人	只見高等学校1年	酒井 香苗
	佳作	優しさに 触れて広がる 絆の輪	只見高等学校1年	目黒 正也
一般の部	優秀賞	只見町 自然と人が ONE TEAM	小 林	星 嘉人
	佳作	叱る前 五秒かけて 深呼吸	福 井	渡部 直江
	佳作	朝送り 夕に迎える 安堵感	蒲 生	田中ケイ子
	佳作	消せないよ いじわるな一言 やめようね	梁 取	山内美代子

第34回青少年健全育成主張大会発表題名・発表者 (敬称略)

発表題名	学校	氏名
「オークランドとの交流を通して」	只見小学校6年	酒井 麗
「自然との共生～閑上での学びを通して～」	朝日小学校6年	斎藤 有紗
「只見町の未来について考える事を通して」	明和小学校6年	矢沢 実優
「相手を思いやる心」	只見中学校1年	宇野 日陽
「地球温暖化を考える～海洋教育を通して～」	只見中学校2年	梁取 健志
「生徒会活動を通して学んだこと」	只見中学校3年	橋川 綾乃
「私を変えた出会い」	只見高等学校1年	梁取 ゆず
「心の健康のために」	只見高等学校2年	吉津 沙優
「世界平和とは。」	只見高等学校2年	吉津 優河

福島県教職員研究論文
只見小と朝日小が入選

1月23日、県教育委員会が主催する「福島県教職員研究論文」の表彰式が役場で行われ、只見小学校と朝日小学校が「入選」作品として表彰を受けました。これは、教職員の自主的な研究を奨励し、研修意欲や専門性を高めることを目的に実施されているものです。

只見小は町内の自然を活かした体験活動を行い、ESD(海洋教育)に結び付けた点が、朝日小はESDで育みたい能力・態度の育成を様々な教科で実践した点がそれぞれ高く評価されました。当日は、南会津教育事務所の石本浩一所長から表彰状が手渡されました。



▲石本所長(左)から表彰状を受け取った只見小 遠藤教頭(中左)と朝日小 菅家教頭(中右)

1月26日は「文化財防火デー」
成法寺で消火訓練を実施

1月26日、「第66回文化財防火デー」による消火訓練が町内で行われ、只見町消防団をはじめ関係者が参加しました。毎年1月26日は、国民の文化財愛護意識の高揚を図る「文化財防火デー」に指定されており、本町でも2年に1回、消火訓練が行われています。

今年度は、国指定重要文化財の成法寺観音堂を会場に、119番通報や初期消火、文化財の搬出など、一連の動きを確認しました。また、国指定重要文化財の旧五十嵐家住宅、県指定重要文化財の旧長谷部家住宅(叶津番所)を加えた計3ヶ所で防火査察を行い、防火の管理状況の確認を行いました。



▲放水を行う消防団員(成法寺)